

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公表番号】特表 2011-511916 (P2011-511916A)

【公表日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2011-015

【出願番号】特願 2010-546909 (P2010-546909)

【国際特許分類】

F 1 6 J 15/08 (2006.01)

F 0 2 F 11/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 J 15/08 P

F 0 2 F 11/00 F

F 0 2 F 11/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 1 日 (2012.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 10 は、本発明のさらに別の局面に従い構成された多層ガasket 910 を示す。類似のものは 900 番台が付けられて同様の参照番号で示される。ガasket 910 は 3 つの機能層 912、912 および 914 と、距離層 916 とを有する。機能層 912 および 914 は、機能層 12 および 14 について上記と同じ構成および配置を本質的に有する。したがって、機能層 912 および 914 は距離層 916 の対向する側 918 および 920 に当接するように配置され、距離層 916 は機能層 912 および 914 との間で挟持される。機能層 912 は機能層 912 に重なり、当接する。機能層 912、912 および 914 の各々は、距離層 916 の開口 924 と位置合わせされるよう寸法決めされている開口 922 を有し、それぞれの開口はシリンダ孔 926 と位置合わせされるよう、互いに対して配置される。機能層 912 および 914 の各々は、層 912 および 914 の面 930 から外方向に延在するフル押圧封止ビード 928 を有し、シリンダ孔 926 に対する気体気密封止の確立を容易にする。機能層 912' はフル押圧ビード 928 を有し、これは他の機能ビード 928 と同様に寸法決めされ、機能層 912 の機能ビード 928 と対向して配置されるよう構成されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

組立てられると、当接する機能層 928 および 928 はそれぞれのフルビード 928 および 928 が互いに鏡映の関係に並ぶよう配置されており、それぞれの頂 942 および 942 は互いに反対方向に向かう。ガasket 910 は、第 2 の部分 950 に当接するように配置されている、反対方向に向かうフルビードを有する 2 つの当接機能層 912 および 912 と、第 2 の部分 950 の反対側に当接するように配置されているフルビードを有する第 3 の機能層 914 とを有することにより、使用の際にシリンダヘッドとエンジンプ

ロックとの間で形成されるより大きい動的ギャップは、シリンダ孔 9 2 6 からの気体の漏れに対して封止可能である。